

平成30年度各部の重点取組

部(局)名	土木部
部(局)長名	松本 利久
理事名	稲葉 武司（事業企画調整担当）

【基本姿勢】

道路や公園は、高質で安全なまちを支え、社会活動の基盤であり市民生活に潤いと豊かさを与えるものです。

これらのストックを良好に維持管理し、現世代のみならず次世代へも引き継いでいくことは、土木部の最重要課題であります。

道路ストックについては、各種点検・調査を行い、事後対応から事故を未然に防止するため、予防保全に重点を置いた計画的な維持管理に努めていきます。

都市公園施設についても、公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理・修繕・更新を進めていきます。

これらを適切に執行していくための維持管理費用を「まちの固定費」ととらえ、「まちの品格」を保つため、その確保に努めていきます。

また、都市計画道路や地域再整備を図ることも重要課題であり、安全で快適な都市基盤をつくり、まちの魅力を向上させていきます。

また、「歩く」ことを基本とした市民の移動がより円滑に行えるよう、歩行空間のバリアフリー化や安全な自転車利用の環境整備、さらに公共交通の利用環境向上に努めていきます。

【重点課題】

1	持続可能なインフラマネジメントの推進
2	うるおい豊かなみどりのまちづくり
3	交通環境の整備
4	都市基盤の整備

【重点課題1】

持続可能なインフラマネジメントの推進

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

道路ストックの有効利用と事業費の平準化などのため、橋梁、大型ボックスカルバートの点検結果から、個別施設計画を作成します。また道路小規模附属物についても点検・補修計画を作成し、維持管理に努めます。適切な維持管理費用を「まちの固定費」と捉え、「まちの品格」を保つよう適切な維持管理費の確保に努めます。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

- | | |
|---|--|
| ① | 昨年度に引き続き、法令で義務付けられた橋梁の点検を実施します。今年度は新たに大型ボックスカルバートの点検を追加します。インフラ長寿命化計画行動計画（個別施設計画）を作成します。 |
| ② | 老朽化した道路小規模附属物について、施設の更新を実施します。 |
| ③ | 安全で快適な歩行空間の形成のため、街路樹の根上がり対策を実施します。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|---|
| ① | 近接目視による点検を橋梁80橋、大型ボックスカルバート2か所について実施します。点検結果に基づき橋梁、大型ボックスカルバートについて個別施設計画を作成します。 |
| ② | 市内全域の単柱標識（この先行き止まり、歩行者専用道路など）の点検を実施し、補修計画を作成します。 |
| ③ | 市内全域の歩道舗装の根上がり補修事業計画を作成、適切な事業費の確保を目指します。 |

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	道路ストック総点検事業	道路室
イ	路線道路補修事業	道路室
ウ	路線道路補修事業	道路室

【重点課題2】

うるおい豊かなみどりのまちづくり

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

公園・遊園・緑地・緑道の適切な維持管理に取り組む

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

- | | |
|---|---|
| ① | 千里花とみどりの情報センターを「みどりのまちづくり実践型シンクタンク施設」として活用を進めていきます。 |
| ② | 利用実態に応じた新たな維持管理水準、管理運営の考え方に沿った、公園の再整備方針を策定します。 |
| ③ | 「彩団地助成金制度」の普及啓発に取り組むとともに、効果検証を行います。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|--|
| ① | 公園利用の新たな可能性を探り、都市魅力の向上につなげます。 |
| ② | 公園を取り巻く環境の変化や、公園利用者の多様な要望・ニーズへ柔軟に対応するとともに、新たな利活用を踏まえた公園などの質的向上と再生につなげます。 |
| ③ | みどりに関する助成制度の在り方を検討し、見直しにつなげます。 |

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	花とみどりの情報センター管理事業	公園みどり室
イ	みどり政策事業	公園みどり室
ウ	みどり推進事業	公園みどり室

【重点課題3】

交通環境の整備

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

公共交通を利用しやすい環境に整え利用促進を図るとともに、公共交通空白地域における交通対策を検討します。また交通ルール・マナーの啓発に取り組みます。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 鉄道、バス路線図やバス乗場、主な施設へのアクセス情報の提供等により、公共交通利用の環境改善、促進に努めます。また公共交通空白地域における交通対策を検討します。

② 交通安全教育や自転車の安全利用の啓発を進めていきます。

イ 達成目標

① 利用者の視点に立った公共交通の情報提供等により、公共交通を利用しやすい環境に整え利用促進に努めます。また公共交通不便地域における移手段の確保に努めます。

② 自転車関連事故の減少を目指します。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	地域公共交通活性化事業 交通対策検討事業	総務交通室
イ	総合的自転車対策事業	総務交通室
ウ	交通事故をなくす運動事業	総務交通室

【重点課題4】

都市基盤の整備

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

都市計画道路新設事業・市街地整備事業では、都市基盤整備を推進し都市機能の向上を図ります。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 都市計画道路事業を進め、安全で快適な道路整備を推進します。

② 市街地整備事業を進め、安全で魅力的な都市基盤整備を推進します。

イ 達成目標

① 都市計画道路岸部中千里丘線及び都市計画道路南吹田駅前線の供用を開始します。

② 都市再生整備計画に基づき、阪急千里山駅と南千里駅周辺の工事を完了します。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	都市計画道路事業（南吹田駅前線立体交差事業・岸部中千里丘線道路新設事業）	地域整備推進室
イ	千里山駅周辺整備事業 千里南地区センター再整備事業	地域整備推進室